2024

KUMAMOTO CHUO SHINKIN BANK REPORT　２０２４/９

熊本中央信用金庫　半期ディスクロージャー

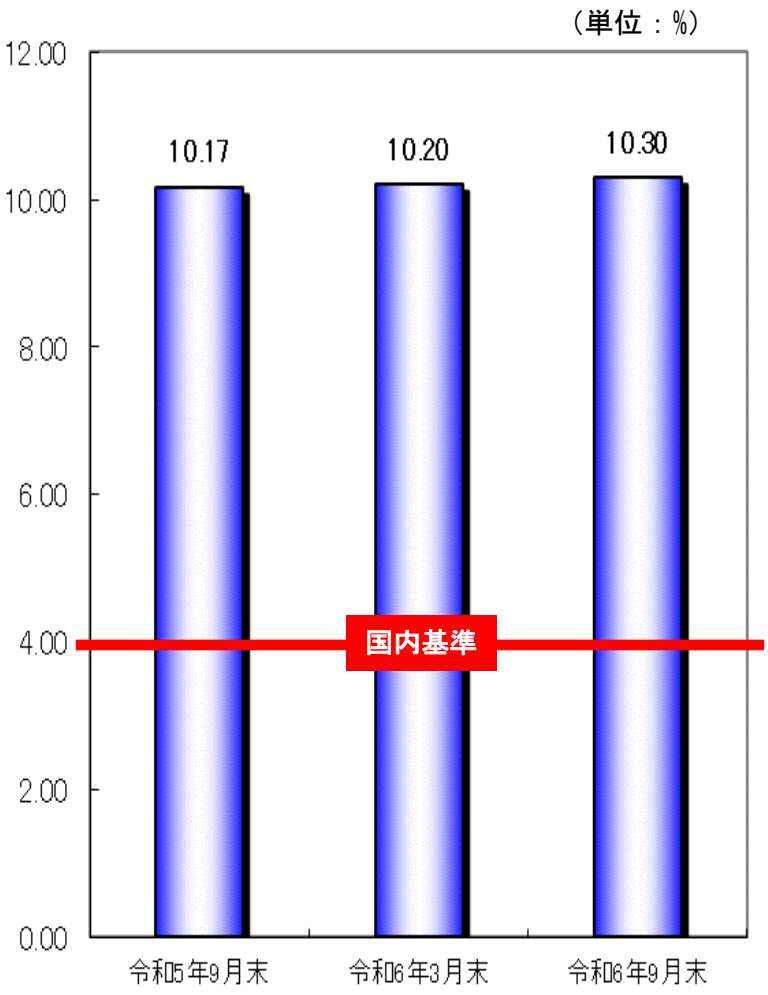
中央しんきんの令和６年９月末仮決算状況について Q & A 形式で

中央しんきんのキャラクター「チューちゃん」がお答えします！

Q　１．金融機関の安全性や健全性の指標である自己資本比率の状況はどうですか？

A　中央しんきんの自己資本比率は１０.３０％と国内基準の４％を上回っています。

●自己資本比率の推移



	令和6年3月末	令和6年9月末
コア資本に係る基礎項目　（A）	8,733	8,801
コア資本に係る調整項目　（B）	158	163
自己資本額（A）－（B）　（C）	8,575	8,638
リスク・アセット等計　（D）	83,995	83,836
		（単位：％）
単体自己資本比率　（C）/（D）	10.20	10.30

●自己資本比率の算出方法

出資金や内部留保などの自己資本の額を「分子」として、貸出金などの各種の資産をリスク・ウェイトによって調整した信用リスク・アセットとオペレーショナルリスク相当額を８％で割って得た額の合計を「分母」として算出されます。

$$\text{自己資本比率（10.30%）} = \frac{\text{自己資本の額　8,638百万円}}{\text{信用リスク・アセット（78,788百万円）} + \text{オペレーショナル・リスク相当額÷8%（5,047百万円）}} \times 100$$

用語解説

●自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の安全性や健全性を図る指標の１つで、貸出金や有価証券などの総資産（リスク・アセット）に対する自己資本の割合のことです。国内のみで営業している金融機関に求められる基準は４％とされています。

国内基準	日本国内のみで営業している金融機関	4%

●オペレーショナルリスク

オペレーショナルリスクとは、事務事故、システム障害、不正行為等で損失が生じるリスクのことです。なお、算定にあたって当金庫は、基礎的手法を採用しています。その計算方法は次のとおりです。

$$\text{オペレーショナルリスク相当額} = \frac{\text{粗利益（直近３年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近３年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

Q

2. 不良債権の状況はどうなっていますか？

A

中央しんきんでは、貸出金等の資産について厳格な基準による査定を行い、これを基に不良債権の償却・引当を実施して、より一層の資産の健全化を進めております。また、不良債権については、貸倒引当金及び担保・保証等で十分にカバーされています。

●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円）

	令和6年3月末	令和6年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権　(A)	460	462
危険債権　(B)	799	650
要管理債権　(C)	27	21
合　計　(A)+(B)+(C)=(D)	1,287	1,134
貸倒引当金　(E)	376	345
担保・保証等　(F)	727	623
保全額合計　(E)+(F)=(G)	1,103	969
※「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。		
保全率　(D)/(G)	85.68%	85.43%

（注）

1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3.「要管理債権」とは、「３カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。

Q

3. 有価証券の運用はどうですか？

A

安全性・収益性・流動性を重視しながら特定の種別や銘柄に偏らない分散投資に努めております。

●有価証券の時価情報

■その他有価証券で時価のあるもの

（単位：百万円）

区分	令和6年3月末 時価	評価差額	うち益	うち損	令和6年9月末 時価	評価差額	うち益	うち損
株式	107	18	18	0	119	30	30	0
債券	25,633	▲ 782	28	811	25,432	▲ 982	18	1,001
その他	14,017	▲ 1,650	260	1,910	14,262	▲ 1,704	239	1,944
合計	39,758	▲ 2,414	307	2,722	39,815	▲ 2,656	288	2,945

（注）

1. 令和6年9月末の「評価差額」は、令和6年9月末時点の帳簿価格（償却原価適用前）と時価との差額を計上しております。
2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。

■満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和6年3月末 帳簿価格	含み損益	うち益	うち損	令和6年9月末 帳簿価格	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,193	▲ 306	0	307	2,170	▲ 329	0	329
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	2,193	▲ 306	0	307	2,170	▲ 329	0	329

Q 4．収益状況はどうなっていますか？

A 令和６年９月末での収益の状況は下表のとおりです。安定した収益を確保しています。

（単位：百万円）

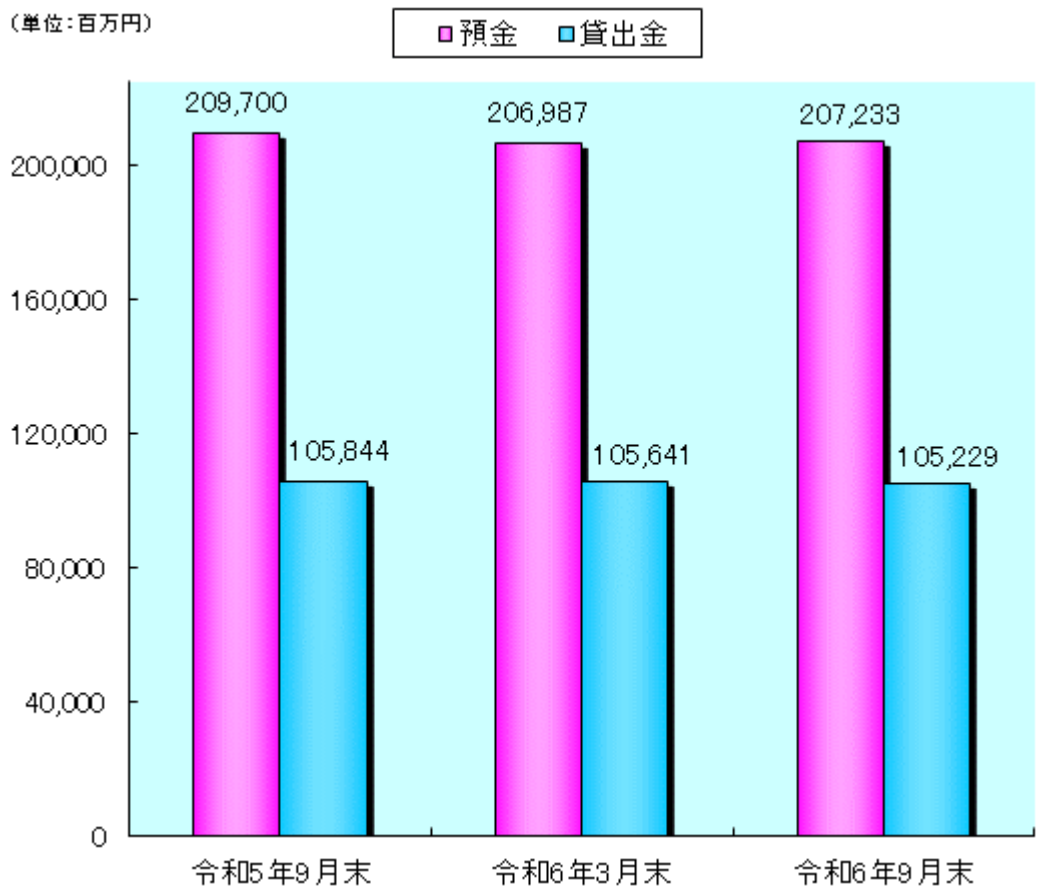
	令和5年9月末	令和6年9月末
経常収益	1,712	1,632
業務純益	253	340
コア業務純益	253	297
経常利益	343	265
当期純利益	213	105

（注）信用金庫は年１回の決算となっており、左記計数については令和６年９月末時点で試算した場合の概数を掲載しております。よって、年度末決算に準じて作成しておりますが、一部簡便な方法で集計を行っておりますので、年度末の決算とは連続しておりません。

Q 5．預金・貸出金の状況はどうなっていますか？

A 預金・貸出金の残高は、堅調に推移しております。

●預金・貸出金残高の推移



●貸出金の業種別内訳

（単位：百万円、％）

業種区分	令和6年3月末 残高	令和6年3月末 構成比	令和6年9月末 残高	令和6年9月末 構成比
製造業	3,075	2.91	3,156	2.99
農業、林業	1,040	0.98	1,009	0.95
漁業	96	0.09	108	0.10
鉱業、採石業、砂利採取業	308	0.29	354	0.33
建設業	9,275	8.77	9,619	9.14
電気・ｶﾞｽ・熱供給・水道業	500	0.47	518	0.49
情報通信業	247	0.23	295	0.28
運輸業、郵便業	1,170	1.10	1,066	1.01
卸売業、小売業	6,846	6.48	6,824	6.48
金融業、保険業	2,424	2.29	2,392	2.27
不動産業	25,638	24.26	25,487	24.22
物品賃貸業	816	0.77	794	0.75
学術研究、専門･技術サービス業	682	0.64	616	0.58
宿泊業	305	0.28	370	0.35
飲食業	1,977	1.87	1,972	1.87
生活関連サービス業、娯楽業	1,240	1.17	1,169	1.11
教育、学習支援業	369	0.34	312	0.29
医療、福祉	3,247	3.07	3,165	3.00
その他のサービス	4,662	4.41	4,610	4.38
小計	63,926	60.51	63,844	60.67
地方公共団体	4,781	4.52	4,934	4.68
個人	36,933	34.96	36,449	34.63
合計	105,641	100.00	105,229	100.00

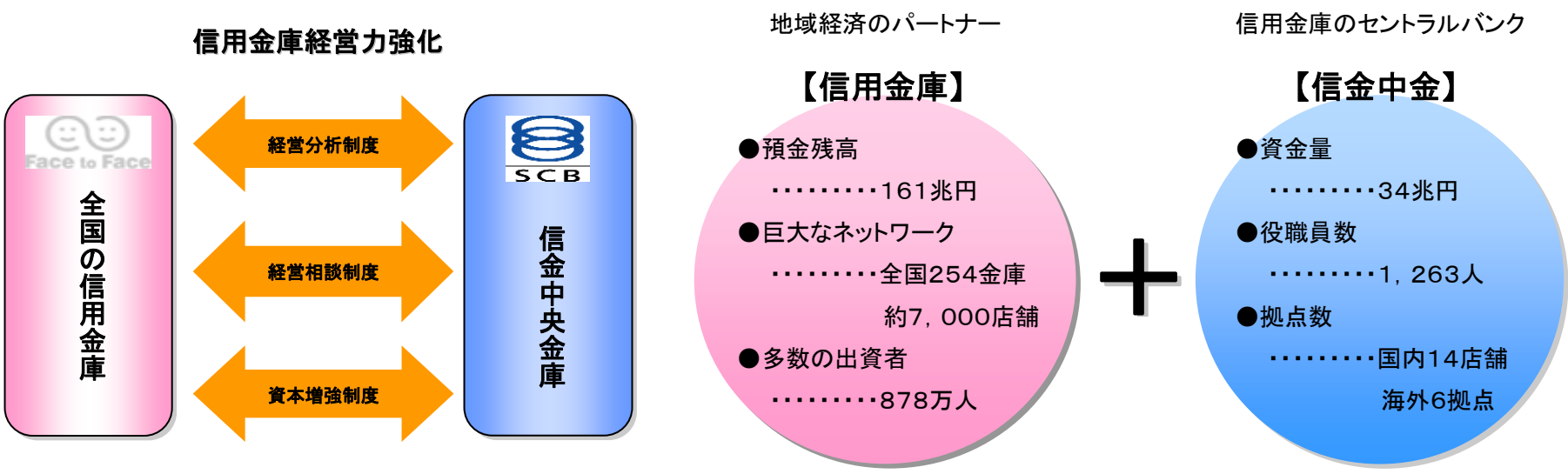
（注） 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

Q 6．信用金庫業界のセントラルバンクである「信金中央金庫」について教えてください。

A

信用金庫の中央機関として「信金中央金庫」があります。信用金庫業界では、平成 13 年 4 月から「信用金庫経営力強化制度」を創設し、「信金中央金庫」が会員信用金庫の経営分析、経営相談、資本増強などで信用金庫を強力にサポートしております。このように全国に広がる信用金庫と「信金中央金庫」は、固い絆で結ばれ、お互いを強化し合い日本の金融業界の中において確固たる地位を占めております。

※下記計数は令和６年３月末現在です。



Q　7．最近の中央しんきんの主な出来ごとについて教えてください。

A　中央しんきんの令和６年４月～令和６年９月までの主な出来ごとをご紹介します。

４月　・日本フルハップの共済代理店業務取扱開始
・「ひとよしくま熱中小学校」第６期開校支援

６月　・「信用金庫の日」社会貢献活動

７月　・「ビジネスカジュアル」の導入
・錦支店でＳＮＳ型ロマンス詐欺被害を防ぎ人吉署より感謝状を拝受

８月　・第４７回火の国まつり「おてもやん総踊り」ほか各地の夏祭り等に参加
・「省エネ・地域パートナーシップ」への参加登録
・株式会社ライトアップが提供する補助金・助成金診断システム「Ｊシステム」の利用開始
・令和６年度「熊本県 DX マッチング商談会」共催
・健康経営を目指し「ヘルスター健康宣言」を実施

９月　・事業者様向け「事業承継セミナー」開催
・「パートナーシップ構築宣言」の公表

「ひとよしくま熱中小学校」
第６期開校支援

熊本県ＤＸマッチング商談会

補助金・助成金診断システム
「Ｊシステム」の利用開始

パートナーシップ構築宣言

地域活性化・お取引先支援の取組みについて

中央しんきんでは、事業者の皆様のお困りのことについて、各種経営支援メニューで課題解決のお手伝いをしております。
なお、ご紹介している取り組みは一部のものです。その他事業経営のことでお困りのことやお悩みのことがありましたら、ぜひ当金庫までお気軽にご相談ください。

販路拡大支援
- 信金中央金庫
（全国の信用金庫とのネットワーク）
- よい仕事おこしネットワーク
（全国の信用金庫お取引先とお取引先をつなぐ取組み）
- くまもと県南フードバレー推進協議会
- 中小企業庁熊本県よろず支援拠点

補助金申請支援
〇事業再構築補助金
〇ものづくり補助金
【連携先】
- ㈱エフアンドエム
- エキスパート・リンク㈱
- ㈱ライトアップ

〇ＩＴ導入補助金
【連携先】
- ㈱リコージャパン

求人採用等支援
【求人採用に関する連携】
- ミイダス
- doda キャンパス
- 熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点
- ジンジブ

【人材活用に関する連携】
- ステップ国際協同組合
- スキルシフト
- エスハイ

事業承継支援
【連携先】
- 熊本県事業承継・引継ぎ支援センター
- 株式会社Ｍ＆Ａの窓口
- 信金キャピタル株式会社
- 株式会社日本Ｍ＆Ａセンター
- 株式会社バトンズ

この半期レポートは、仮決算に基づき当金庫が自主的に開示する数値であり、監査法人の監査を受けたものではありません。

熊本中央信用金庫
〒８６２-０９７３　熊本市中央区大江本町１番６号
☎０９６（３６６）１１１１㈹
ホームページアドレス　https://www.kumachu.jp/